

1. 各項目の特徴点、考察

Q1の自転車利用状況では、55.2%の方が殆ど使わないとなっている。

Q2の自転車の立場から、自転車の利用について危険と思われる項目の上位は

1位「歩行者の多い道路」・・・19.2%

2位「自動車の交通量が多い場所」・・・17.3%

3位「見通しの悪い交差点」・・・16.8% が上位を占めている。

- ・その他の意見では、「違法駐車」「交差点の直進、右折時」「歩道の段差」等が上げられた。
- ・この結果から、自転車の立場では、「人・車が多い場所で危険を感じる傾向」である事がわかる。

Q3の歩行者の立場から、自転車の利用について危険と思われる項目の上位は

1位「夜間、無灯火での走行」・・・21.5%

2位「メール等をしながら」・・・19.7%

3位「脇道からの飛び出し」・・・14.2% が上位を占めている。

- ・その他の意見では、「二人乗り」「並行走行」「音楽を聴きながら」「猛スピードで来た」等が上げられる。
- ・この結果からは、歩行者の立場では、「自転車に乗っている人のマナーの悪さ」が上げられた。

Q4の自動車の立場から、自転車の利用について危険と思われる項目の上位は

1位「夜間、無灯火での走行」・・・25.3%

2位「脇道からの飛び出し」・・・19.4%

3位「メール等をしながら」・・・16.1% が上位を占めている。

- ・その他の意見では、「自動車の間のすり抜け」「二人乗り」「ドアを開けた時」「交差点の右左折時」「音楽を聴きながら」が上げられる。
- ・この結果から、歩行者と同様で、「夜間の無灯火」「脇道からの飛び出し」「メール等をしながら」と順番は違うが全く同じ内容で危険であると、感じている事がわかる。

Q5の要望や提案では700件近い意見があり、その多くは

自転車専用道の整備・・・319件

運転者のマナー向上・・・241件

駐車場の充実(拡大)・・・53件 となっている。

その他の意見では、「免許制度の実施」「車道を走るの怖い」「制限速度を設ける」「路上駐車の取り締まり」「道路の色分け」「車道走行の徹底」「歩道を走らせるべき」と相反する意見も上げられた。

- ・この意見をまとめると、現在の道路整備状況からみて、自転車を車道走行にした法規に対し、道路整備が追いついていない事から、自転車専用道の整備が早急に求められている。また、「自転車運転者のマナー向上」は、歩行者に危険を及ぼす違反者に対する取り締まりの必要があるが、交通ルール・マナーの交通安全教育の徹底も早急な課題である。そのため、小学校から地域までの幅広い交通安全教育等も必要と思う。

2. 地協の政策要望への反映課題

- ・自転車専用道の早期整備拡大
- ・自転車専用道の区分の不明確の緩和（専用レーンの色分け等）
- ・自転車走行場所の明確化（車道走行か歩道走行か不明なため、標識の整備）
- ・駅近郊での駐輪場の拡大整備（主要駅での駐輪場不足、特に名古屋駅）
- ・駐輪場の利用目的、利用時間に応じた料金体系

3. 連合愛知の要望書、行政への要請取り組みとしたい項目(地協独自では達成が困難な項目など)

特になし

4. その他(統一項目や他地協のアンケートと比較して気づいた点など)

特になし